

---

# 貴方とあたし

\*° 。アズ。° \*

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

貴方とあたし

### 【Nコード】

N2901F

### 【作者名】

\*。アズ。\*

### 【あらすじ】

貴方とあたしの共通の接点。それわ…「交通事故」

## 1 交通事故くアズく（前書き）

この話わ本当にあった話です。グダグダしていて読みづらいと思います）>。（読んで下さると嬉しいです。

## 1 交通事故くアズく

貴方の人生わ本当に辛すぎ。

いろんな事があつたね。

二人で乗り越えたね。

この小説わあたし達の人生デス。

読んでくださつたら嬉しいデス。貴方とあたしの接点わく交通事故く

あたし。アズわ初カレをく交通事故くで無くした。

このく無くしたくとゆう証言にわ意味がある。

あの日。

12日。

12日にあたし達わ付き合つたね。

初カレで元カレの名前わ秀。

秀に告白されてあたしわOKのかわりにホッペチュしたね。

でも

貴方がいなくなつたのわ次の日だった。

次の日、めえるしても返信がなくてそれから3日連絡とれなかつたね。

心配になつてあたしが家に行つてしまった。

そしたら秀の親が

『秀わね13日の日嬉しそうに『彼女ん家行つてくる!!!』つて行つて家をでたの。でもその彼女ん家の家の前でバイクに跳ねられて

…今病院にいるわ。』

あたしわ呆然とした。

何で？

あたし家にくるなんて聞いてないよ…？

何で…？

それからすぐに病院に向かった。

着いたらもう意識がなくていろんな機械つけられてた。

医者があたしに

『植物状態です。意識が戻る確率わ低いでしょう。』

『は？低いでしょうって…何…？それを治すのが医者なんぢやないの…！？あんたらが治すんぢやないの…！？？ねえ…！？？なんとか言つてよ…！ねえ…！藪医者ぢやない…！治してよ。秀を治してよ。ねえお願い。あたしちゃんと学校行く。サボんない。悪い事もしない。だからお願い。秀を治して。お願い。お願い…！』

『手わ尽くしました。』

あたしわ我を失った。

秀が植物状態…

秀が…

あたしわ泣き叫んだ。

あたしわどうすることも出来ないんだ。

あたしわ…

秀のお母さんがきてあたしに言った

『秀わね。もう戻つてこないのよ。もう。』

『あたしわ…あたしわそれでもいい。それでもいいから秀と付き合いたい。お願いします。秀と付き合わせてください』

『……………』

『返事わいつでもいいです。またきます。』

病院を出たあたしわ事故現場に行った。

無意識に…

そこから先の事をいまいち覚えてない。

どおやって帰つたか。

どおやって涙を止めたか。

覚えてない。

3日後

あたしわ病院に向かった。

でもね

病室にいたのわ片付けをしていたナースだけかった。

秀も秀の親も…いない。

あたしわわけもわからず片付けをしていたナースに聞いた。

『あの！！すいません！！この病室に入院していた宮崎秀って人わどこにいったんですか！！??』

『ああ。宮崎サンね。宮崎サンならさつき実家のある故郷？に転院してつたわよ。』

『え?』

あたし聞いてない。

何も聞いてない。

どおゆうこと…?』

あたしわすぐに秀の家に電話した。  
出る訳もない家に…。

それからあたしわどおすることも出来ずにただ泣いた。

これからいつぱい秀と思い出作るはずだったのに…

何で…

どおして…?』

ねえ秀。

どおして?こうして

貴方わあたしの前から姿を消した…

## 1 交通事故（アズ）（後書き）

ぐだぐだしてすみません。これわアズ視点？です。アズが経験した交通事故でした。

## 2 交通事故の貴史1 (前書き)

ちょっと出会いもはいつてしまいました。すみません…



## 2 交通事故〜貴史1〜

清水貴史。

これが俺の名前。

今俺の中2。

自分で言うのもなんだが俺わこの歳で人より辛い経験をしている。

俺わ「交通事故」で大切な人達を2回もなくした。

最初わ小5だった。

幼なじみで片想いをしていた理恵。

理恵わ俺のせいで死んだ。

俺と理恵わ些細な事で喧嘩をした。

そして俺わ理恵に大嫌いと言ってしまった…

理恵わ泣きながら帰って行った。

俺わ謝るきつかけがなくなただ無視をしていた。

それに耐えられなくなった理恵わ親に引越したいと言った…

そして引越して行ってしまった。

でも

その引越してる途中。

理恵わ事故にあって帰らぬ人になった。

俺が大嫌いなど言わなかったら…

あんな事言わなかったら。

理恵わ今でも…

元気だったはず。

俺わ自分をせめた。

でもせめてもせめても理恵が帰ってくる事わなかった…

そして俺わ得意だったサッカーに打ち込む事にした。

これでも俺わ全国レベルでキャプテン！

そのせいか結構モテる。

でも俺女の子苦手で…

でも

彼女わいるよ!!

彼女の名前わ梓。

通称アズ。

自分でも梓ぢやなくアズと名乗っているww

梓わ東京。

俺わ兵庫。

遠距離恋愛ってやつをやっている。

出会いわ千葉でおこなった全国大会だった

俺わサッカーの大会の為千葉に1週間いた。

梓わその大会を偶然見ていた。

大会前日。

真夜中俺わ1人で座っていた。

その1週間の間に理恵の命日が重なっており、いろいろ考えていた。

そこに梓が通りかかったのだ…

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2901f/>

---

貴方とあたし

2010年10月11日02時27分発行